

酒気帯び運転の発生状況（2026年3月期）

日本郵便株式会社中国支社（広島県広島市、支社長 麴沢 光弘）管内においては、2026年3月期に酒気帯び運転は発生していません。

なお、これまで発生した事案については、既に厳正な処分を行っているところです。

社会的・公共的役割を担い、信用を第一とする弊社として、このようなことが発生しましたことについて、お詫び申し上げるとともに、今回の事態を真摯に受け止め、これまで同様、発生者に対する処分を厳正に行うとともに、社員に対する指導を徹底してまいります。

1. 業務中の酒気帯び運転（呼気1L中にアルコールが0.15mg以上検出される状態をいいます。）
0件（発生なし）
2. 通勤中の酒気帯び運転（同上）
0件（発生なし）

※1 道路交通法上の罰則を伴わない、酒気を帯びた状態での運転（呼気1L中にアルコールが0.15mg未満検出される状態をいいます。）（通勤中）については2件発生しています。

※2 2件はいずれも、前日の飲酒によりアルコール反応が出たものです（通勤中に飲酒をしていたものではありません。）。

また、2件の内1件は、乗務前の点呼において実施しているアルコール検知により発覚したものであり、業務中の運転には至っておりません。

残り1件は、郵便内務事務に従事する者で、点呼実施対象者ではありませんが、作業中にアルコール臭がしたため、アルコール検知を実施し検知したものです。

注	酒気帯び運転	呼気1L中にアルコールが0.15mg以上検出される状態をいいます。
	酒気を帯びた状態での運転	呼気1L中にアルコールが0.15mg未満検出される状態をいいます。 道路交通法上の罰則を伴いませんが、飲酒運転を発生させないことが当社の責務であると認識し、公表するものです。

以上

【報道関係の方のお問い合わせ先】
日本郵便株式会社 中国支社
経営管理部 広報担当
電話：（直通）082-224-5120